

県政の動き

4月11日(木)～6月10日(月)

4月16日(火)

★地域リーダーと語る会

4月19日(金)

鹿児島養護学校新築移転式典

4月22日(月)

★神奈川県・鹿児島県両県知事会談

4月23日(火)

【日本の近代化産業遺産群―九州山口および関連地域―推薦書案等を国へ提出】

4月23日(火)

全国食生活改善大会第1回実行委員会

4月24日(水)

鹿児島本格焼酎と中国料理を楽しむイベント「MY 耐華Style」〔薩摩美耐華〕第2回春薩摩

4月26日(金)

かごしまふるさと屋台村一周年記念式典

4月28日(日)

★J・R枕崎駅舎落成式

4月29日(月)

★みどりの感謝祭

5月7日(火)

叙勲伝達式

5月11日(土)～12日(日)

★平成新茶まつり

5月16日(木)

鹿児島県企業誘致推進協議会

5月17日(金)

鹿児島県犯罪のない安全なまちづくり県民会議

5月18日(土)

★西之谷ダム竣工式

5月19日(日)

第7回鹿児島県障害者スポーツ大会

5月23日(木)

★第30回国民文化祭鹿児島県実行委員会第2回総会

5月25日(土)～26日(日)

★鹿児島県総合防災訓練および県下一斉防災点検

★は写真入りで紹介

4月16日(火)

地域リーダーと語る会



伊藤知事が県民と直接対話を行う「知事と語る会」について、今回は、志布志市において「地域リーダーと語る会」と題して開催し、さまざまな分野で活躍されるリーダーの方々28人が出席した。

第一部では、県政運営などについて知事が説明を行った後、農業や商工業など各分野の現状や課題等について地域リーダーと知事が意見交換を行った。

第二部では、知事と地域リーダーが会食しながら、和やかな雰囲気の中で、大隅地域の未来について語り合った。

また、知事は語る会に先立ち、志布志市内の太陽光発電所や志布志港、農産生産法人の活動状況等を視察した。



4月22日(月)

神奈川県・鹿児島県両県知事会談 ～神奈川県との交流を開始します～



県では、新たに神奈川県との交流を開始することとした。

交流開始に当たって、伊藤知事は神奈川県の黒岩知事と東京都内で会談を行い、今後、それぞれの地域特性を活かしながら、産業、観光・文化、教育などの各分野において、両県の交流を進めていくことで合意した。

本県と神奈川県は約950km離れ、自然環境や産業構造なども異なっており、今後、それぞれの個性と資源を活かした、新たな連携・協調の可能性を探っていくこととしている。



JR枕崎駅舎落成式



「本土最南端の始発・終着駅」の枕崎駅舎が完成し、駆け付けた多くの市民や観光客が7年ぶりの復活を祝った。

駅舎は、市民などからの寄付金により、「レトロ感溢れる癒しとパワーを感じる最南端の終着駅」をコンセプトに枕崎市などで設立した駅舎建設期成会が建築した。併せて、駅舎周辺も県の「魅力ある観光地づくり事業」で、送迎デッキや園地などが整備された。

当日は、「かつお節行商の像」の除幕や関係者によるテープカットがあったほか、記念列車の運行や「枕崎鯉船ひなど入めしSP」など特産品の振る舞いもあり、たくさん笑顔で溢れる賑やかな一日となった。



みどりの感謝祭



県民に、森林にふれあい、森林を守り育てていくことの大切さを認識してもらうことを目的とした「みどりの感謝祭」を始良市の県民の森で開催し、約2000人の方々が参加した。

緑化活動に取り組んでいる学校や緑の少年団の表彰等を行った後、木工・竹クラフトや竹紙作り、木登り体験などの「緑の教室」や「森の散策」、丸太切り競争や間伐材の積み木などの「森の運動会」といったさまざまな楽しい体験活動を行った。

感謝祭では、参加者全員へ花苗や苗木のプレゼントを行い、新緑に包まれた自然の中で、森林を満喫する一日となった。



平成新茶まつり



平成25年産「かごしま茶」の新茶をPRするため、鹿児島中央駅前アミユ広場において、県茶業会議所、南日本新聞社の主催による「第16回平成新茶まつり」が開催された。

会場には、「かごしま茶」の代表銘柄が一堂に会し、試飲・宣伝販売や日本茶インストラクターの指導のもと、来場者自らが急須で入れてお茶を楽しむ「かごしま百円茶屋」などのイベントが実施され、多くの来場者が新茶の香りと味を楽しんだ。

開会セレモニーでは、本年3月に60業者、229銘柄の「かごしま茶」が初めてかごしまブランド製品に指定されたことに伴う、かごしまブランド製品指定証の贈呈式が行われた。



西之谷ダム竣工式



鹿児島市街地を流れる新川の河川総合開発事業として建設を進めてきた西之谷ダム^{にしやたに}の竣工式を執り行った。

新川は、川幅が狭く梅雨期や台風期に毎年のように河川の増水、氾濫を繰り返してきた。西之谷ダムは浸水被害の軽減を図るため昭和47年に調査を開始し、平成21年3月からダム本体工事に着手、本年4月から本格的な供用開始となっている。

当日は、国土交通省、地元選出国會議員ならびに県議會議員をはじめ、関係機関や地元関係者、地権者の方々など約160人が出席し、テープカット、くす玉開披^{かひひ}、記念碑除幕および記念植樹などを行ない、ダム竣工を祝った。

今後も、「災害に強い県土づくり」を県政の重要な課題の一つに掲げ、治水対策を進めていく。



第30回国民文化祭鹿児島県実行委員会第2回総会



平成27年度に開催する「第30回国民文化祭・かごしま2015」の県実行委員会の第2回総会が開催された。

国民文化祭は、各種文化活動の日頃の成果を全国規模で発表・競演する国内最大の文化の祭典で、本県では、「本物。鹿児島県」文化維新は黒潮に乗って」をテーマとして、平成27年10月31日(土)～11月15日(日)までの16日間にわたり県内全ての市町村で開催する。

総会には市町村長や関係文化団体の会長など各界各層の代表者約170人が出席し、国民文化祭における主催事業の開催日や開催会場などを取りまとめた実施計画大綱(案)が承認され、鹿児島県ならではの県民総参加による祭典の開催に向けて、準備を進めていくことが確認された。



鹿児島県総合防災訓練および県下一斉防災点検



奄美大島近海を震源とする地震や津波、集中豪雨に伴う土砂災害を想定した「鹿児島県総合防災訓練」を県と奄美市の共催で実施した。

25日、市民を対象とした防災研修会や図上訓練、避難所の体験訓練を実施した。26日には防災関係機関や学校など86の機関・団体と住民、合わせて約4500人が参加し、防災訓練を実施した。訓練では、東日本大震災や奄美豪雨災害などを踏まえ、緊急速報メールやコミュニケーションFMなどを活用した情報伝達訓練、中学生による津波からの避難訓練や孤立住民の救出訓練なども行われた。

また、海上自衛隊の大型輸送艦「おおすみ」による車両輸送訓練も行われた。

訓練終了後、伊藤知事を班長として、奄美市、龍郷町の災害危険箇所などの防災点検を実施した。

